

ケア・ハピネス権利擁護自己評価表結果一覧

前回より評価が上がってれば↑、下がってれば↓、変わってなければ→で表示する

番号	評価内容	前回の平均	今回の平均	前回との比較
1	ご利用者様を「さん」付けにて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	4.7	4.7	→
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用者様に対して敬称を付けます。	4.6	4.7	↑
3	ご利用者様との会話は敬語を使っています。	3.8	3.8	→
4	ご利用者様に対して「～なさい！」のような上下関係での命令語は使用しません。	4.6	4.8	↑
5	ご利用者様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.5	4.3	↓
6	ご利用者様がおびえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.5	4.5	→
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用者様を傷つける言動は行いません。	4.6	4.6	→
8	ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけで返答をしています。（例：〇〇が終わったら行きます。）	3.5	3.5	→
9	ご利用者様自身ができることを職員が代わりにしません。	4.0	4.0	→
10	不適応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.2	4.2	→
11	職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。	4.2	4.3	↑
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に応じて分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。（ルビ、図、絵カード）	4.1	4.0	↓
13	業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。（第三者は自身の家族や親戚も含みます）	4.6	4.7	↑
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて支援者間で情報共有出来るようにしています。（ご利用者様の状況報告）	4.0	4.1	↑
15	ご利用者様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.0	4.0	→
16	ご利用者様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。（報告・連絡・相談）	4.2	4.3	↑
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝達しています。（申し送り等引継ぎ）	4.3	4.1	↓
18	他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたときは、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.2	4.0	↓
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用者様がどんな場面でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.2	4.2	→
20	ご家族やご利用者様から既存のサービスメニューにないサービスを求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をします。	4.0	3.9	↓
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。（身体介助、性の話など）	4.4	4.5	↑
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告します。	4.3	4.4	↑
23	プライバシーに関わる申し送りは（排泄や生理等）、ご本人や周囲に配慮して行います。	4.5	4.5	→
24	ご利用者様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用者様及びご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応をします。	4.3	4.3	→
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安全管理に努めます。	4.4	4.5	↑
1＝不完全 2＝もう少し 3＝まあまあ 4＝ほぼ出来ている 5＝非常に出来ている		4.3	4.3	→

めいとく権利擁護自己評価表結果一覧

前回より評価が上がっていれば↑、下がっていれば↓、変わってなければ→で表示する

1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている					
番号	評価内容	令和2年12月	令和3年3月	令和3年7月	前回との比較
1	ご利用者様を「さん」付けにて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	5.0	5.0	4.8	0.2 ↓
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用者様に対して敬称を付けます。	4.8	4.8	4.8	0.0 →
3	ご利用者様との会話は敬語を使っています。	4.2	4.4	4.3	0.1 ↓
4	ご利用者様に対して「～しなさい！」のような上下関係での命令語は使用しません。	5.0	5.0	4.8	0.2 ↓
5	ご利用者様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.8	4.8	4.8	0.0 →
6	ご利用者様がおびえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.6	5.0	4.7	0.3 ↓
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用者様を傷つける言動は行いません。	5.0	5.0	4.8	0.2 ↓
8	ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけで返答をしています。（例：〇〇が終わったら行きます。）	4.4	4.6	4.3	0.3 ↓
9	ご利用者様自身ができることを職員が代わりにしません。	4.4	4.5	4.4	0.1 ↓
10	不適応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.8	4.9	4.7	0.2 ↓
11	職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。	4.6	4.8	4.6	0.2 ↓
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に応じて分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。（ルビ、図、絵カード）	4.8	4.8	4.8	0.0 →
13	業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。 （第三者は自身の家族や親戚も含みます）	4.9	5.0	4.8	0.2 ↓
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて支援者間で情報共有出来るようにしています。（ご利用者様の状況報告）	4.6	4.9	4.6	0.3 ↓
15	ご利用者様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.5	4.4	4.2	0.2 ↓
16	ご利用者様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。 （報告・連絡・相談）	4.8	4.5	4.8	0.3 ↑
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝達しています。（申し送り等引継ぎ）	4.6	4.5	4.2	0.3 ↓
18	他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたときは、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.5	4.7	4.6	0.1 ↓
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用者様がどんな場面でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.7	4.5	4.5	0.0 →
20	ご家族やご利用者様から既存のサービスメニューにないサービスを求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をします。	4.5	4.8	4.6	0.2 ↓
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。（身体介助、性の話など）	4.8	5.0	4.4	0.6 ↓
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告します。	4.7	4.9	4.8	0.1 ↓
23	プライバシーに関わる申し送りは（排泄や生理等）、ご本人や周囲に配慮して行います。	4.9	5.0	4.8	0.2 ↓
24	ご利用者様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用者様及びご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応をします。	4.6	4.9	4.7	0.2 ↓
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安全管理に努めます。	4.9	5.0	4.8	0.2 ↓
	集計	4.7	4.8	4.6	0.2 ↓

権利擁護アンケート結果 チャレンジめいとくの里介護系

めいとく権利擁護自己評価表結果一覧 R3.6月 回答数32				
前回より評価が上がってれば↑、下がってれば↓、変わってなければ→で表示する				
番号	評価内容	前回の平均	今回の平均	前回との比較
1	ご利用者様を「さん」付けて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	4.1	4.2	↑
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用者様に対して敬称を付けます。	4.4	4.2	↓
3	ご利用者様との会話は敬語を使っています。	3.7	3.4	↓
4	ご利用者様に対して「～しなさい!」のような上下関係での命令語は使用しません。	4.4	4.4	→
5	ご利用者様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.5	4.3	↓
6	ご利用者様がおひえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.5	4.4	↓
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用者様を傷つける言動は行いません。	4.6	4.5	↓
8	ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけて返答をしています。(例:○○が終わったら行きます。)	3.7	3.5	↓
9	ご利用者様自身ができることを職員が代わりにしません。	3.9	3.9	→
10	不適応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.0	4.0	→
11	職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。	3.9	3.8	↓
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に応じて分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。(ルビ、図、絵カード)	3.9	3.8	↓
13	業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。 (第三者は自身の家族や親戚も含みます)	4.9	4.7	↓
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて支援者間で情報共有出来るようにしています。(ご利用者様の状況報告)	4.4	4.1	↓
15	ご利用者様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.3	4.1	↓
16	ご利用者様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。 (報告・連絡・相談)	4.6	4.4	↓
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝達しています。(申し送り等引継ぎ)	4.4	4.2	↓
18	他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたときは、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.3	3.8	↓
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用者様がどんな場面でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.4	4.1	↓
20	ご家族やご利用者様から既存のサービスメニューにないサービスを求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をします。	4.1	3.9	↓
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。(身体介助、性の話など)	4.1	3.9	↓
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告します。	4.2	4.0	↓
23	プライバシーに関わる申し送りは(排泄や生理等)、ご本人や周囲に配慮して行います。	4.2	4.0	↓
24	ご利用者様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用者様及びご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応をします。	4.4	4.2	↓
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安全管理に努めます。	4.4	4.3	↓
1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている		4.3	4.1	↓

※前回の平均はワークス、介護系合同の結果でしたので、今回比較はありません。

点数が低かった項目

18 他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたときは、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。(前回 4.3⇒今回 3.8)

※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ

理由：他の職員の言葉使いが不適切と感じても上司に報告出来ていない。

小さなことは報告していない。

8 ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけで返答をしています。(例：〇〇が終わったら行きます。)

11 職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。

理由：「ちょっとまって」という言葉が先に出てしまう。

どうしても離せない業務がある時など「ちょっと待って」といつてしまったり、急がせたりすることがある。

トイレ誘導で間に合わない時には急かします。

高かった項目

1. ご利用者様を「さん」付けにて名前を呼びます。

※呼び捨てやニックネームで呼びません。

理由：対等関係で接している。

ご利用者様という事を意識して行っている。

結果より、全体的に点数が下がっている。

1の「さん」付けは徹底されているが唯一高い点でした。

皆さんがご利用者様に敬語使いが徹底され、全体的に権利擁護に対する意識が高まった結果、出来ていない事がより露になった。という結果でした。

ご協力ありがとうございました。

※また権利擁護委員会で出た内容で8の「ちょっと待って」をいう事に対しても言いつばなしでなく、返し言葉を使用するといったのではという事が会議で挙がりました。

例) 飲食店では、「ちょっと待って」でなく「少々お待ちください。」

その後、「お待たせしました。」「お待ちいただいてありがとうございます。」など使用される。「ちょっと待って」を使用した後も、「待たせてごめんね。」「待ってくれてありがとう。」などの言葉を添えると「ちょっと待って。」と悪い言葉にはならないようになるかもしれないとの事でした。

考え方を変える。

自分が出来ていないから言えない。×

自分も出来ていないから教えて ○

【集計・分析 介護系権利擁護委員会】